ジュエリーは長い間存在するもので、引き継がれるもの
～それが我々の一番の幸せです～
OKURADO

桜花

ジュエリー コンシェルジュ 大倉

オフィス
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-4-6
エフアンドエフロイヤルビル2F
TEL03-3526-8801　FAX03-3526-8804

サロン
〒104-0061 東京都中央区銀座3-11-19
エスティメゾン銀座708
TEL03-3524-8187　FAX03-3524-8327

日本のマニュファクチュールブランドOKURADOは、「新しい日本のジュエリーを世界に」というスピリットのもと2009年に誕生し、昨年5周年を迎えた。

帝国ホテルで開催した、その記念パーティで挨拶したアトリエマイエドール代表の大倉仁氏の言葉をここで紹介したい。

大倉氏は、「我々は、ジュエリー、宝飾品を創る集団です。ほんとうに宝飾の仕事は良い仕事だと思います」とした上で、ひとつ目の良い点は「まったく何もない所からアイデアが生まれ、数週間後にはデザインが上がり、それからまた数か月後にプロトタイプの立体になります。今日、何もない所から立体になり、そのいくつかが商品となります。また、そのいくつかがジュエリーとなり、そしてそのいくつかはお客様に喜んでいただいて身に着けて頂くことになります。その商品によっては、5年、10年、何十年と長い間存在し続けます。そして、そのいくつかは、その方のお子様に引き継がれ、何十年後かには、またお孫さんやその次の世代へと引き継がれることになります。ジュエリーというのは本当に長い間存在し続ける商品だと思います」と、ジュエリーは引き継がれるものであることが前提だとした。

そして、「景気が良かった時に大量にいろんなものが作られ、いま必要なくなったものが自分たちの知らないところで大量に廃棄されていると聞いたことがあります。ジュエリーは決して安いものではなく、また決して棄てられるものでもありません。仮に、ジュエリーのデザインを変えたい時は、それまでについていたダイヤモンドをはずし、デザインを変えて、また新しいデザインにセットして使うことができます。万が一、ジュエリーが必要なくなり処分する場合でも、ついていたダイヤモンドは必ず誰かが引き継ぎ、棄てられることはないのです。金属は、精製され、また綺麗な金属となり、必ず誰かが使います。一回つくられた金属やダイヤモンドは、必ず世界中の誰かが使うという非常に貴重な商品をつくっている仕事だと実感しています」と、自分の仕事への誇りを示唆した。

そして、もうひとつの良い点は「大切な人や思い出などとして、また自分の気持ちを高めたり、ネガティブな感情の時でも、ジュエリーによって前向きな気持ちになれたりと、ほんとうに小さなことでもジュエリーを見れば、人生を変えるぐらいに気分をガラッと変えてくれる存在だと思っています。これからも、我々はものづくりを続けていきますが、少しでも皆様に喜んで頂き、少しでも前向きな気持ちになって頂けるような商品ができれば、それが私たちの一番の幸せです」と話していたことは、宝飾の原点ではないだろうか。なにか悩んだときがあったとしても、この原点を思い出せば、必ずや一歩一歩前進できるのではないだろうか。

万葉

万葉

銀座サロンで文化に触れる
～サロン・ド・九州～
ジュエルマツウラ

昨年30周年を迎えたジュエルマツウラは、オーナーの松浦裕子氏の最後のチャレンジとして、2014年4月に銀座サロンをオープンした。

アンティーク風の家具から色調など、サロンのほとんどをオーナーの松浦さんが考え、ベランダには鮮やかな緑を置いて、落ち着いてジュエリーを楽しむための空間が演出されている。

ガラスのテーブルにガラスの商品ケースを備えているのは特注で、楽しいひと時に活躍しそうである。

松浦さんは「なんでも自分で考えたくなるんです」と、福岡本店と銀座サロンを月に何度も往復するほど精力的に活動している。

それはジュエリーの制作時にも表れており、溶接機をとり入れたのも、3DCADを導入したのも西日本で一番早かったと言われるほどで、初めから使いこなすのは難しかったと導入当時を振り返ったが「よそが作り得ないような緻密で繊細なデザインが可能となって、オリジナル性を鮮明に表現することによって、大きな会社にも負けないくらいになりました」としている。

特注のガラスの商品ケース

また、銀座サロンをオープンしたのもチャレンジのひとつとしており、路面店ではなく敢えて入り口も分からないビルの7階に隠れ家的サロンを構え、都会にありながら緑あふれるジュエリーサロンとして、又上級なカルチャーサロンとして日々を素敵に過ごすためのレッスンやセミナーも開催している。

松浦さんは「世の中のジュエリー離れは深刻です。若い30代から40代が本物を身に着けないことで、これまで育ててきた職人や販売員のレベルがこれからは下がる恐れもあります。素敵な女性はステキなものに憧れるものです。本物の追及は、自分の人間性を高めるもので、素敵な人になるためには自分の人間性を日々訓練する必要があります。簡単には身につかないものです。人との付き合いも大事です。本社は福岡にありますが、福岡から東京に出て多くの人が成功しています。そのような人たちと接していると、良い気がスパイラルのように巡って、友人がどんどん増えるんです。ジュエリー販売で一番大切なことも、やはり人間性だと思います。これからはお客様をこちらが選ぶことも大事ではないでしょうか。サロンでは、『サロン・ド・九州』として、人と人の交流も手掛けていくつもりです」と、これからの東京での活動が楽しみなんですと話す。

銀座サロンでは、『サロン・ド・九州』として、九州にゆかりのある文化人の集まりを行う。定例会として講師を迎え、大人のサロンを展開していく。

松浦さんの“最後の挑戦”は、まだまだ最後にはなりそうもない。

松浦裕子（オーナー・デザイナー）
日本ジュエリーデザイナー協会正会員
大胆な宝石使いと、繊細なデザインで、
根強いファンを飽きさせないジュエリーデザイナー。

ジュエルマツウラ銀座サロン
〒104-0061 東京都中央区銀座2-8-18 グランベル銀座ビル702号
TEL&Fax　03-3567-6275

GINZA TENSHODO SINCE 1879
天賞堂　銀座本店
東京都中央区銀座4-3-9
地下鉄銀座駅B2出口より徒歩1分
JR有楽町駅より徒歩5分
TEL.03-3562-0022　www.tenshodo.co.jp